

猿橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

「姿」で見せる

校長 磯部 裕之

運動会が終わった代休明けの火曜日、応援団を解散する式（解団式）が行われました。その時に、青組担当の先生が応援団の子どもたちに語った言葉が印象に残りました。

あの大玉送りの決勝戦が始まったとき、青組の応援団のみんな、悔しくて泣いてたよね。自分もそれを見て、気持ちの整理がつかないまま大玉送りの審判に向かいました。でも、そのあと、表彰の場面では、団長さんは、悔しさを我慢して、自分の気持ちをもう一度奮い立たせて青組のみんなにメッセージを送ったでしょ。その姿が本当にすごかったし、カッコイイと思ったんだよね。自分だったら、あんな風には絶対に言えないなあと思ったよ。

そばで聞いていた私は、その時の場面を思い出し「本当にそのとおりだ」と心の中で叫んでいました。この日に向けて休み時間も返上して必死に練習を重ねてきた応援団の子どもたち。その全力で取り組む姿は、いつしかそれぞれのチームの心をひとつに束ねていきました。

解団式では、応援団の子どもたちからこんな言葉も聞かれました。

「最高の仲間と一緒にやってきて、本当に楽しかった」

「自分一人で目標に向かって頑張るのもいいけど、こうやって応援団のみんなとひとつの目標に向かって頑張るのは、楽しいってことが分かりました」

応援団での経験を振り返って、こんな素敵なコメントが言える子どもたち。それだけ思いを込めて打ち込んできたからこそその感想と言えます。解団式の最後には、解散することが寂しくて涙を見せた団員もいました。応援団の子どもたちにとって、1ヵ月かけて取り組んできたこの挑戦は、一生の宝物になることでしょう。



【各団長による誓いの言葉】



【150周年記念のバルーンセレモニー】

子どもたちは、日々様々な経験をして成長していきます。でも、毎日同じペースで伸びていくわけではありません。この運動会という行事は、一人一人を一気にグーンと成長させる節目となりました。応援団に限らず、役員として活躍してくれた5・6年生、全力で走り、全力で応援し、最後まで頑張った全校の子どもたち、それぞれにドラマがあったことでしょう。最後まで全力で取り組む姿は、本当に素晴らしかったです。

そんな子どもたちに最後まで温かいご声援と拍手を送っていただきました保護者・地域の皆様、トラブルなく実施できるようにご協力いただきましたPTA 役員の皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで、創立150周年の記念となる素晴らしい運動会となりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。